

第2回 SPARC Japan セミナー2019

# オープンサイエンスを支える

# 研究者情報サービスと

# その展望

2019年12月20日(金) 13:00-17:15

筑波大学東京キャンパス文京校舎 120講義室

今日進展しつつあるオープンサイエンスは、オープンアクセス、オープンリサーチデータの取り組みを通じて、サイエンスの営みに多様な主体が参画することを可能とする。その際、どのような論文、データ等の研究成果があり、誰がそれを成しているのか、研究成果と人の情報が効率的、効果的に収集され、多様な担い手候補に情報が展開されることが重要となる。研究者情報サービスは、それ単体、あるいは他のサービスとの連携を通じて、まさにこの役割を担い、オープンサイエンスを支える情報基盤となりうるものである。

また、各大学・研究機関は、組織運営から組織経営への転換を長らく迫られている。研究者情報基盤を充実させることは、研究者のアクティビティをより正確に捉えることにもつながるため、マネジメントの観点からも重要性が増している。

本セミナーでは、特に研究者総覧・研究者データベースや機関リポジトリ等、大学・研究機関において組織的に整備されるサービスを中心に取り上げる。同時に、国レベルで整備されるresearchmapや、民間セクター、非営利セクターにおいて整備される研究者情報サービスについても視野に入れつつ、その現状を共有するとともに、「令和時代のオープンサイエンス」における研究者情報サービスの課題と展望を議論する。



登壇者(敬称略)

青木 学聡

(京都大学情報環境機構)

矢吹 命大

(横浜国立大学研究推進機構)

上原 藤子

(沖縄科学技術大学院大学図書館)

海老澤 直美

(日本原子力研究開発機構)



## プログラム

13:00-13:10	開会/概要説明
13:10-13:50	機関研究情報システムの内外展開とこれからの課題 青木 学聡(京都大学情報環境機構)
13:50-14:30	横浜国立大学における研究者データベースと 外部サービスの連携 矢吹 命大(横浜国立大学研究推進機構)
14:30-14:40	休憩
14:40-15:20	教員評価とリンクするリポジトリ登録 ～OA率採用とその効果～ 上原 藤子(沖縄科学技術大学院大学図書館)
15:20-16:00	原子力機構の研究開発成果の効果的な普及 ～その管理と活用～ 海老澤直美(日本原子力研究開発機構)
16:00-16:10	休憩
16:10-17:10	パネルディスカッション
17:10-17:15	閉会



参加費  
無料



動画中継  
あり



@SPARC\_JP\_event  
#sparcjp201902



参加申込:2019年12月2日(月) 以下サイトより受付開始

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2019/20191220.html>

申込期限:2019年12月17日(火) ただし定員70名に達し次第〆切



お問い合わせ先:国立情報学研究所 SPARC担当  
co\_sparc\_all@nii.ac.jp

## 2019年度年間テーマ:令和時代のオープンサイエンス

第1回 2019年10月24日(水) 人文社会系分野におけるオープンサイエンス  
～実践に向けて～

特別編 2019年11月12日(火) オープンアクセスの今とこれから  
～ステークホルダーの戦略とともに考える～

第2回 2019年12月20日(金) オープンサイエンスを支える研究者情報サービスと  
その展望

第3回 2020年1～2月 研究データ管理(仮)